

JSCA 機械保全技能士(電気系)教育講座 新規開設について

1. 課題認識

会員各社において、主要設備の“高齢化”が進む中で、突発的な設備故障のリスクが大きくなっている。一方、設備メーカーにおいてもサポート人員の補充が十分に行われているとはいえ、対応に時間がかかることが今後のリスクとして顕在化している。特に電気系、制御系においては、機械系と異なり“見てもわからない”ことが多く、各社の保全に関わる人材も対応力が低下しているのが現状である。

JSCAとして、こういったリスクに対処していくためには若手の人材育成が求められている会員に対し教育訓練の場を提供する必要があると考えて今回、本講座の新規開設をしたいと考える。

2. 講座について

機械保全技能士とは、工場の機械設備が安全かつ正常に稼働するよう、修理やメンテナンスを行う技能と知識を証明する国家資格のことで、機械系、電気系、設備診断系の3種の保全作業に分れる。上記の課題認識から、JSCAとしては“電気系保全作業”にフォーカスした講座を開設することとし、株式会社 KAMAMESHI に研修を委託して開催することとしたい。

(株)KAMAMESHIは日本製鉄の機能分社型ベンチャーで、講師は東日本製鉄所設備部OB)

【到達目標】

自社の安定生産、保全体制強化に資する電気設備保全技能の基礎を体得することで

◎ (公)日本プラントメンテナンス協会が実施する「機械保全技能検定(電気系)3級」を取得

① 講座実施内容

- ・座学と実技指導(キットを使つての実技)を計10講座<一泊二日×5回(5ヶ月)> 80H程度
- ・対象は各社の設備保全に携わる者あるいはその予定の者(電気設備の事前知識は不要)
- ・電気回路キットは研修講座期間中はリース提供(下記費用の内数)
- ・費用は45万円(税抜き)/人(→費用負担についての詳細は下記で検討)
- ・開催場所は東京都港区芝公園3-5-8『機械振興会館』
- ・定員は6名とする(講師が実技指導するのでこれが限度) ※1社1名で応募多数の場合は抽選
(JSCA会員社 30社で1社2名程度を養成するとして、継続的に実施するとして10年で一回り)
- ・KAMAMESHI社と個別に契約していただきます(助成金申請の関係からこれが必須)

② 費用負担について

- ・上記研修講座の費用に加え、機械保全技能検定3級の試験費用2万円と5回の宿泊・交通費
- ・本研修には、厚生労働省の“人材開発支援助成金”が適用され、中小企業は15万、大企業は10万円/人の助成が受けられる。申請についてはKAMAMESHI社がフォーマットを用意するので、それに沿って記入し申請することが可能。(詳しくはKAMAMESHI社から案内される)
- ・JSCAとしてもこの研修を有意義なものとするために資格取得できた会員社には奨励金を10万円/人(案)を支給することとしたい(資格取得が要件となる)
(→研修講座に補助するとなると助成金が減額されることになるのでこの形式としたい)

③ スケジュール(概略)

JSCA総会で承認	4月24日
募集開始	GW明け
受講者の確定	5月末
● 研修計画申請(個社)	6月末まで
● 講座期間	8月下旬～翌1月末(講座2日/月×5ヶ月) 参加者と相談
検定試験申込	8/下～ (JSCA奨励金のためには申込必須)
筆記試験	翌1月11日(今年度)
● 助成金申請	翌2月～3月まで
実技試験	翌2月(地区により異なる)
合格発表	翌3月下旬
奨励金振込	翌3月末

● 助成金関連

以 上